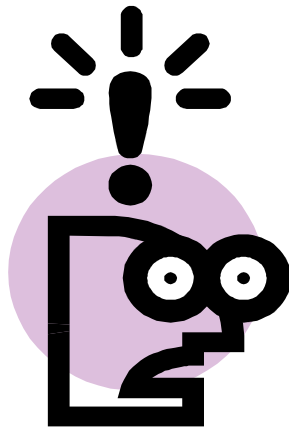


# 最新切抜きトピックス



マチとムラ 縁をつな  
ぐ「九州のムラ」の  
養父信夫編集長  
【日経MJ 07.3.12】

「都会の人々との息の長い交流こそ、廃れゆくムラを再興する近道」。この信念を胸に、九州中のムラを10年にわたって歩いた。地道な努力がトヨタ自動車の会員制情報サイト「GAZOO(ガズー)」のコンテンツとして結実した。地域情報誌「九州のムラ」編集長の養父信夫(44)は、農漁村と都市の住民の「顔の見える関係」づくりを目指して、今日も歩き



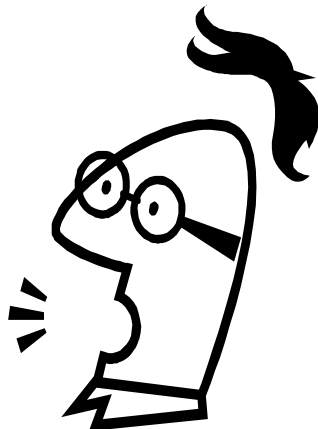
「企業がムラとつながるのは消費者に近づくことでもある」と語る養父さん(左)

自分も茅ヶ崎の山の方に住んでいるのでとても気持ちがわかります。都会がいいか、田舎がいいか難しいところです……

日本酒復権へ 力水は「外」に  
英国のワイン品評会に“進出”

【日経MJ 07.3.19】

「花見酒」のシーズンを迎えたが、日本酒業界は消費者離れなどで市場縮小が続く。蔵元の数も2004年度で約1780と、10年前に比べて2割も減った。危機感を抱いた一部の蔵元は新商品開発や販路開拓に取り組んでいるが、日本酒復権の道のりは遠い。より実効性の高いテコ入れ策とは何か。「外」にこそ活路がある。



酒サムライ本部代表を務める浦霞醸造「佐浦」の佐浦弘一社長(右) (宮城県塩釜市)

私も日本酒が好きなのでとても寂しいです！！  
今年の花見は、ビールでなく日本酒で行くぞー！！

窪野正直